

ふるさとづくり物語

千万町・木下ふるさとづくり委員会

「自分は自分の主人公」

心のふるさと 千万町楽校物語 「みんなが楽しく、やる気でやりたい！」 「ふるさとへの恩返し」 - 「**楽**」がキーワード

1 「千万町楽校通信」を、ふるさとに生きるみなさんの“心の架け橋”に！



木下の代掻き風景

春祭りも終わって、木下では田んぼの畦草刈り・代掻き・田植えなど田んぼ仕事が真っ盛りです。千万町・木下のみなさん、お元気にお過ごしでしょうか。

千万町・木下ふるさとづくり委員会の広報活動として、千万町楽校（旧千万町小学校）を拠点として取り組んでいる「山里のお宝を活かしたふるさとづくり」の様子を、『千万町楽校（ぜまんじょうがっこう）通信ふるさとづくり物語』というお便りとして、不定期で、発行していく予定です。千万町・木下の地域みんなで取り組む「ふるさとづくり物語」を写真や文でお知らせしていきます。

千万町楽校は、みんなが楽しく集う場所です。ふるさとづくり（地域づくり）の主人公は、千万町・木下の地域に生きてくらす、お一人お一人のみなさんです。みんなの笑顔と元気が集まって、「楽校」（がっこう）となるように、声かけあって、気軽に足を運んでください。地域のみなさんの参加をスタッフ一堂、心より待っています。

2 スタッフのふるさとづくり活動への“思いや願い” キーワードは、“楽”！

3月14日(水)のふるさとづくり委員会総会で、新しい役員・委員、事業計画と予算案などが承認されました。総会資料については、各町内会に回覧をしました。3月25日(日)に、新しい年度に向けて、役員会(拡大事務局会)を行いました。13人のスタッフが集まり、熱心に話し合いをしました。会議の最初に、それぞれのスタッフのふるさとづくり活動への自分の思いや願いを話し合いました。

「がんばってやってくれてありがとう、といった地域の人の声を聞くとうれしくなる。でも、本当に地域の人の役に立っているのだろうか」と悩みもある」

「ふるさとづくりは、今までお世話になったふるさとへの恩返しだと思って参加している」

「まずは自分が楽しんでやらないと、と思っている」

「今まで、ふるさとづくりの活動を続けてきたことには意味がある。千万町や木下に、もしも、この取り組みがなかったら、今頃、もっと寂しい村になっている」等々の意見が出されました。

みんなの思いや願いを分かち合うことで、元気と勇気が出るスタートとなりました。



ふるさとづくり合同会議

3 千万町ミツマタ群生地ハイキング・コラボ企画イベント開催！

—おもてなしの心で迎える“地元語り部と歩く千万町ミツマタ群生地黄金郷”—



4月1日(日)に、「森ジビエ・花ジビエーぬかたの山里 桜・ミツマタまつり」が行われました。形埜の丸嶋跡地にできたウッドデザインパーク（経営は、ニッカホームという全国展開しているリフォーム会社）を拠点に、岡崎市東部地区の地域づくり団体と下山の柴田酒造など会社とのコラボ企画がありました。

千万町・木下ふるさとづくり委員会とじさんじよの会も一緒に参加して取り組みました。ウッドデザインパークから、中型バスを千万町ミツマタ群生地まで走らせました。バス3便合計で、68名のお客さんが参加されました。千万町ミツマタ群生地では、バスでみえた方のお出迎えをしました。3便に分かれてみえた方に対して、3回それぞれにガイド役を交代して地元語り部になりました。

「大変感激した。ミツマタの“花と香り”を初めて知った」「予測以上の大規模な群生地ですばらしい。機会があれば、また見学会に参加したい」「こんなにたくさん群生しているとは思いませんでした。感動しました。いい時期に来られてラッキーでした」「すごい！の一言です。この自然をいつまでも守ってください」「いっぱいミツマタで圧倒されました。とてもきれいで感動しました。ガイドさんの案内も良かったです。ありがとうございます」「素晴らしいの一言に尽きます。スタッフの親切なエスコートに感謝申し上げます。ありがとうございました。岡崎の広告塔になって頂きたいと思います」「今回、初めてミツマタとミツマタ群生地を見て、別世界の雰囲気を感じました。まるで黄金郷のようでした」「昨年、山里アートを見学しました。今後も魅力的なイベントを期待しています。想像以上にすばらしくびっくりしました。来て良かったです。お話も面白く聞かせていただきました。また来年も来たいです。いろいろとがんばっておられることがわかりました。このまま続けていただきたいです」など好意的な感想をアンケートに書いて頂きました。参加者の言葉が励みになります。女性部は五平餅作りに取り組み、80本の五平餅が売れました。



4 春を迎え、千万町楽校環境美化&グラウンド・ゴルフ練習再開！



4月10日(火)に、朗進会のみなさんが、千万町楽校の環境整備と美化活動に取り組んでくださいました。20名ほどの会員が参加して、草取りや運動場の除草活動など、熱心に環境美化活動に取り組みられました。

その後、今年度になって初めてのグラウンド・ゴルフの練習会です。校庭に、人の笑顔や笑い声があふれ、千万町楽校や運動場も喜んでいるようでした。

閉校した小学校跡地とは思えないほど、きれいな環境が保たれているのは、地域の誇りです。「5年ぶりにグラウンド・ゴルフをやったけど、とっても楽しかった。また、こうした機会にどんどん参加したい」などの声も聞くことができ、うれしくなりました。

6月2日(日)には、資源回収と地域グラウンド・ゴルフ大会もあります。地域のみなさんの和気あいあいの笑顔と笑い声が、運動場にはじける日を楽しみにしています。